

# みずほフィナンシャルグループ

～経営改革に向けて～

2002年10月10日  
第4回グローバル金融コンファレンス

みずほホールディングス

# 目次

経営改革の理念

みずほの現状と課題

経営改革の2つの柱

最後に

# 経営改革の理念

顧客から信頼される「金融総合サービスグループ」の創造

最適なビジネスポートフォリオの追求

グループ価値の極大化

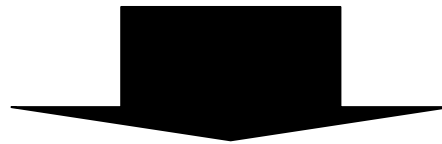
# みずほの現状と課題

統合効果の早期実現

システム障害の影響

株式市況の低迷

不良債権問題



信頼回復と収益性向上に向けた  
抜本的な経営改革の断行

# 経営改革の2つの柱

## 「ビジネス基本戦略」の变革

量から質への転換

徹底した選択と集中

コスト構造変革プロジェクトの推進

## グループ経営の強化

スピード経営の実践

役職員の意識改革

資本効率を勘案した経営指標の導入

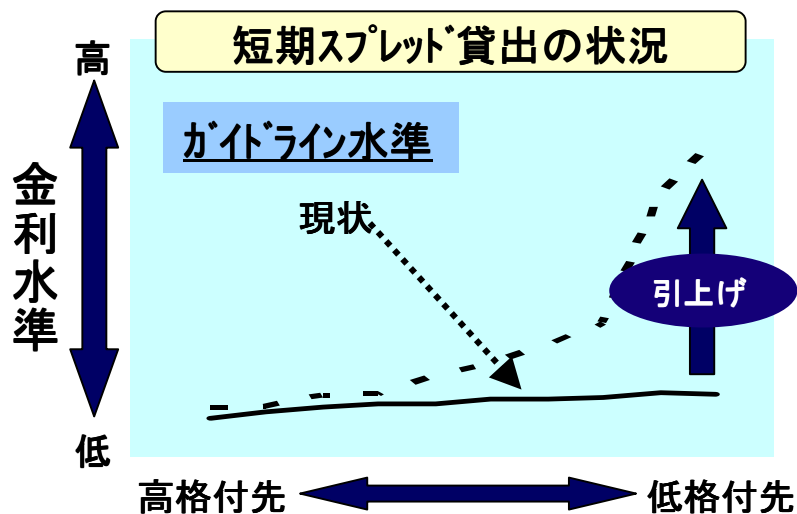
# 「ビジネス基本戦略」の変革(1)

## 量から質への転換

貸出利鞘の適正化

ポートフォリオの改善

新みずほ「金利ガイドライン」の適用



大企業・非日系向け  
貸出資産の圧縮

1.3兆円の貸出債権を対象としたCLO  
プログラムの活用

資産回転型ビジネスの強化

シンジケートローン・ビジネスの拡大・強化

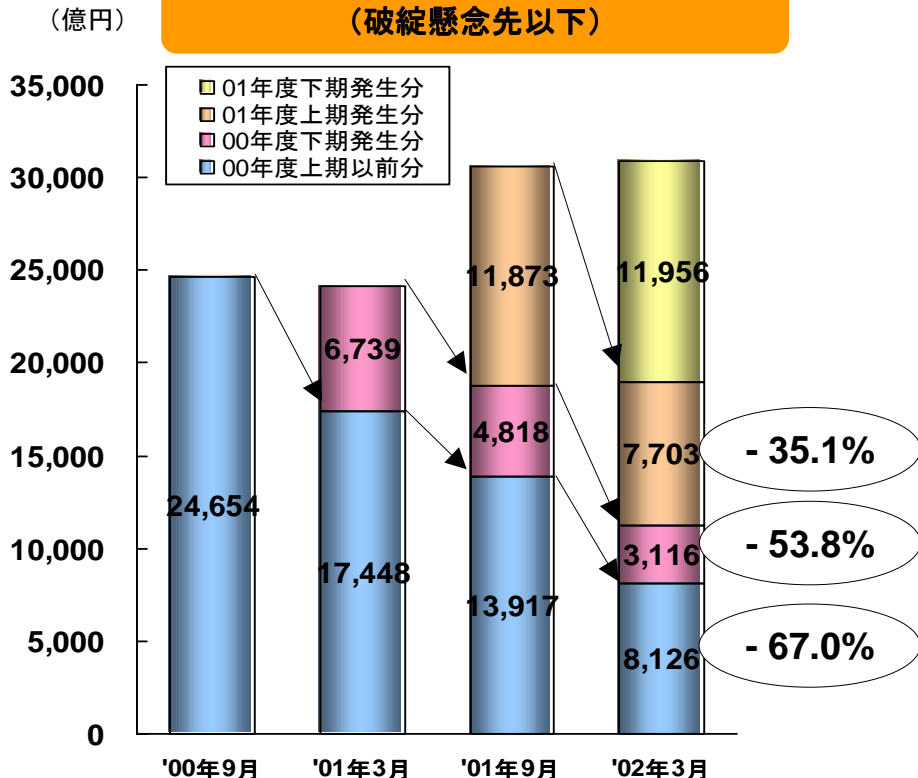
保有株式の削減

# 「ビジネス基本戦略」の変革(2)

## 量から質への転換

### 不良債権問題の早期解決

#### 不良債権のオフバランス化実績 (破綻懸念先以下)



#### 企業再生支援体制の整備

みずほ  
銀行

「企業コンサルティング室」の設置

業績不振企業への事業再生  
支援強化

みずほ  
コーポレート  
銀行

大口問題先に対する再生支援

要注意先を中心にプロダクト外部門  
のノウハウ活用

企業再生ビジネスの強化  
(MBOファイナンスの活用等)

# 「ビジネス基本戦略」の変革(3)

## 徹底した選択と集中

重点分野への  
集中的資源配分

シンジケート・ローン

企業再生ビジネス

保険・投信

間接部門の縮小

新規参入・撤退の  
迅速な判断

<撤退例>

ポータルサイト事業  
(エムタウン)

不動産投信事業



# 「ビジネス基本戦略」の変革(4)

## コスト構造変革プロジェクトの推進

追加経費削減策の実施

粗利益の計画達成度に応じた経費枠の設定

# グループ経営の強化(1)

経営体制の  
スリム化

1人CEO体制

取締役・執行役員数の削減

組織の簡素化

経済合理性の追求と  
スピード経営の実践

## グループ経営の強化(2)

役員  
職員の  
意識改革

360° 評価の導入

適材適所の人員配置

成果に応じた報酬の徹底

## グループ経営の強化(3)

# 資本効率を勘案した経営指標の導入

資本効率を追求し、株主価値の極大化を  
意識した経営管理体制を構築

グループ経営目標の共有化

# 最後に

## みずほホールディングス

アドバイザリーボードの設置  
(社外有識者により構成)

社外取締役参加の経営委員会設置

ヒト・モノ・カネの資源配分  
権限を通じた会社重要事項  
決定への関与・コントロール

グループ全体の  
リスク管理

各子会社の  
パフォーマンス管理

みずほ銀行

みずほコーポレート銀行

みずほ証券

みずほ信託銀行

関連会社群

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。